

平成29年度には、全国の方からふるさと納税として多くの寄附金をお寄せいただきありがとうございました。お寄せいただいた寄附金の内容は次のとおりです。

## 1 ふるさと納税寄附金の状況

寄附の使い道	件数	寄附金額
健康・医療に関すること	1,037件	31,544,000円
高齢者・障がい者福祉に関すること	605件	18,519,000円
防災に関すること	234件	6,047,008円
子育てに関すること	2,019件	55,551,008円
教育に関すること	483件	15,326,000円
文化・スポーツに関すること	228件	6,581,002円
都市整備に関すること	153件	4,042,390円
環境に関すること	505件	12,989,000円
産業振興に関すること	311件	8,134,000円
特に希望しない	2,024件	57,479,000円
合計	7,599件	216,212,408円

※この寄附金は、ご指定いただきました用途に有効に活用するため、春日井市まちづくり寄附基金に積み立て、平成30年度以降の事業に充当します。

## 2 充当事業

平成29年度は、まちづくり寄附基金から448,327千円を次の事業に充当しました。

### (1) 健康・医療に関すること

**充当金額 57,310千円**

#### 《健康診査等》

(37,362千円)

がん等による死亡率を減少させるため、がん等の早期発見、早期治療につながる各種がん検診等の事業費の一部として使用しました。



- ・各種がん検診 90,613人
- ・肝炎ウイルス検診 1,502人
- ・ピロリ菌検査 437人 ほか

《個別妊婦・産後・乳児健康診査》 (19,948千円)

ママのすこやかな妊娠・出産と、赤ちゃんのすこやかな成長のために行う健康診査の事業費の一部として使用しました。

- ・妊婦健康診査 延べ36,257人
- ・産後健康診査 2,075人
- ・乳児健康診査 4,640人

(2) 高齢者・障がい者福祉に関すること 充当金額 43,802千円

《福祉応援券》 (43,620千円)

障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会の実現に向け、障がい者等の日常生活及び社会生活の自立並びに社会参加を支援するため、市内の登録店舗等での商品購入やサービス等に利用できる福祉応援券を支給する事業費の一部として使用しました。

- ・1人あたりの支給額 24,000円から60,000円まで  
(障がい等の程度による)
- ・利用額(請求額) 517,899,000円

《軽度・中等度難聴児補聴器購入費等支給事業》 (182千円)

軽度・中等度難聴児に対し補聴器の購入や修理に要する費用の一部を給付し、言語の獲得や学力の向上を支援する事業費の一部として使用しました。

- ・支給件数 10件

(3) 防災に関すること 充当金額 11,590千円

《避難所備蓄資材等整備》 (11,590千円)

市内9か所の防災拠点、40か所の指定避難所及び7か所の補完施設に設置されている防災備蓄倉庫に必要な資機材を備蓄する事業費の一部として使用しました。

- ・5年保存の食糧及び飲料水(約62,000食)の約4分の1を更新
- ・防災拠点9か所にオストメイト専用簡易トイレを各1基設置
- ・指定避難所40か所及び福祉避難所16か所に特設公衆電話を整備

(4) 子育てに関すること 充当金額 228,368千円

《私立保育園保育実施委託等》 (117,682千円)

低年齢児の保育需要拡大に対応するため、認定こども園及び小規模保育事

業所の整備を進め、その運営費として使用しました。また、保育士の処遇改善に係る補助金の一部として使用しました。

- ・認定こども園 1園開園
- ・小規模保育事業所 6園開園
- ・受入児童数 延べ1,851人

#### 《公立保育園管理費》

(110,686千円)



子どもたちが安全で充実した保育をうけることができるよう、公立保育園施設の修繕料として使用しました。また、施設運営上必要な、消防設備や非常通報装置等の点検など施設管理業務委託料の一部として使用しました。

### (5) 教育に関すること

**充当金額 30,397千円**

#### 《特別支援教育支援》

(22,249千円)

特別な支援を必要とする児童生徒の、生活及び学習での支援や介助のために人員を配置する事業費の一部として使用しました。

- ・特別支援教育支援員 19校
- ・特別支援教育介助員 8校

#### 《書道科》

(7,604千円)

子どもたちが「書のまち春日井」をもっと身近に感じ、書に親しむことができるよう、全小学校の全学年で書の時間（書道科）の授業を実施する事業費の一部として使用しました。



書の時間では、美意識や自省心などの感性を培うとともに、道徳心を養うことを目標とし、低学年から書に触れることで何事にも落ち着いて集中して取り組む姿勢が身につきました。

### 《土曜チャレンジ・アップ教室》

(544千円)

子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともにその可能性を広げることを目的に、地域の人、大学及び企業等の協力により、土曜日を有効に活用した多様な活動を行う事業費の一部として使用しました。



- ・実施校 9校 (合計55回)
- ・参加者 1,967名

### (6) 文化・スポーツに関すること

充当金額 19,090千円

#### 《総合体育館等体育施設管理費》

(15,090千円)

スポーツに親しむ機会や場を確保し、誰もがいつでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進するために、総合体育館、落合公園体育館、温水プール及び市民球場の4施設の維持管理を行う費用の一部として使用しました。

#### 《図書館整備》

(4,000千円)

高蔵寺まなびと交流センター図書館開設に伴い、書架、家具等の購入費、防犯カメラ等の整備工事費及び閉架書庫整備費用の一部として使用しました。



## (7) 都市整備に関すること

充当金額 13,380千円

### 《高蔵寺ニュータウン創生事業》

(13,380千円)

旧藤山台東小学校施設をリノベーションし、「まなび」「交流」「居場所」をコンセプトとした多世代交流拠点施設である高蔵寺まなびと交流センター



「グループふじとう」の整備をはじめ、旧西藤山台小学校施設の活用検討、JR高蔵寺駅周辺再整備の検討、高蔵寺まちづくり株式会社の設立、自動走行実現化研究など、高蔵寺ニュータウン創生にかかる事業費の一部として使用しました。

## (8) 環境に関すること

充当金額 26,440千円

### 《ごみ収集車両整備》

(20,081千円)

ごみの効率的な収集、運搬作業を行うことができるよう、塵芥収集車3台の購入費として使用しました。



### 《ごみ減量啓発》

(5,226千円)

環境カレンダーの発行や小学4年生を対象とした青空教室（ごみに関する教室）、雑がみ回収袋の配布など、ごみ減量を啓発するための事業費の一部として使用しました。



- ・環境カレンダー  
142,000部発行
- ・青空教室（ごみに関する教室）  
37校91クラス（2,953名）
- ・雑がみ回収袋 135,000枚発行



### 《環境都市推進》

(1, 133千円)

年間を通じて実施する河川の清掃や水生生物の調査、自然素材を活かしたクラフトなどの環境啓発イベントの企画運営費や、市民活動団体への助成の他、市と共催する「市民環境フォーラム」の事業費の一部として使用しました。



- ・ イベントの参加人数  
延べ1, 932人
- ・ 活動を助成した市民団体数  
8団体

### (9) 産業振興に関すること

**充当金額 17, 450千円**

#### 《工場・物流施設新增設事業》

(15, 800千円)

雇用の場の拡大と経済の振興を促進するため、工場又は物流施設の新増設等を支援すべく、市内の工場又は物流施設の新増設等に対し交付する助成金の一部として使用しました。

- ・ 助成件数 10件
- ・ 助成金額 83, 197, 000円

#### 《担い手育成支援》

(150千円)

農業の担い手を養成する農業塾や、農業体験を通して自然の恵みや豊かさを実感するとともに食にかかわる人への感謝の心を育む親子農業体験など、新たな農業の担い手を育成するための事業費の一部として使用しました。



- ・ かすがい農業塾  
修了者 15名
- ・ 親子で農業体験  
参加者 20組

### 《かすがいビジネスフォーラム事業》

(1,500千円)

産業の振興を図るため、春日井商工会議所が行う市内企業の販路開拓や新事業の創出を支援する事業に対し交付する補助金の一部として使用しました。



#### かすがいビジネスフォーラム

- ・参加者数 7,200名
- ・出展 135社(151ブース)
- ・目的
  - ①企業の販路開拓や新事業の創出
  - ②将来の雇用、産学官連携の創出
  - ③企業の広域間ネットワーク形成

### (10) その他

**充当金額 500千円**

#### 《地域防犯活動支援事業》

(500千円)

地域住民による自主的な防犯活動の推進と防犯意識の向上を図るため、地域の自主防犯活動に対する補助金の一部として使用しました。



- ・防犯カメラ設置費に対する補助  
12団体 29台